

今後も進化を遂げる多様な魅力にあふれたまち、豊田市

世界をリードするものづくり中枢都市としての顔を持ち、

その一方で豊かな自然とその恵み、栄えある歴史が受け継がれてきた豊田市。

まちの開発・子育て支援・活性化を形成する方々に、現在の豊田市と今後の進化していく豊田市についてお話を伺いました。



Interview

にぎわいと交流にあふれ、歩くのが楽しくなる都心に生まれ変わる。

豊田市役所 都市整備部 都市整備課 瀬木 雄介さん

「つかう」と「つくる」の両輪で整備!

豊田市では、2016年(平成28年3月)に「都心環境計画」を策定し、街の玄関口である名鉄豊田市駅と周辺エリアのにぎわい創出や、公共交通の利便性向上を目指して整備に取り組んでいます。この一連の整備は、公共空間の活用「つかう」と再整備「つくる」の両輪で推進しています。

「つかう」取り組みとしては、2015年から官民が一体となって始めた「あそべるとよたプロジェクト」において、公共空間の活用をスタートし、にぎわいのある都心の実現に向けた実証実験や段階的な整備を進めてきました。駅西口のペDESTリアンデッキでも憩いのにぎわいを創出する広場としての活用方法を検証しました。また、まちなかの公共空間からにぎわいを創出する実証実験の場として、2019年から約4年間、豊田市駅東口まちなか広場という芝生広場を開設。将来に向けた人の滞留やにぎわいの創出につながる試みに取り組みました。こうした公共空間を活かした取り組みや交通実証実験などの結果を踏まえて、現在「つくる」取り組みとして本格的な整備をすすめています。



にぎわいの広場を起点に人の流れが生まれる街へ

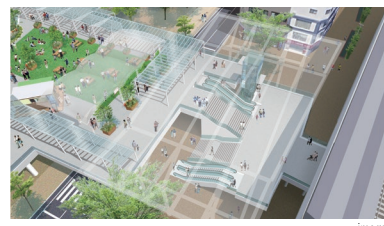
本格的な整備が始まり、今まさに大きく変わろうとしている豊田市駅周辺。アジア競技大会が開催される2026年には、西口に集約するバス乗降場、ペDESTリアンデッキ、東口のロータリーの利用を開始する予定です。そしてアジア競技大会の終了後には、東口の広場空間の整備をスタートする予定です。人々が集い、にぎわいと交流が生まれる…そんな人を中心とした空間整備で、都心のさらなる発展とにぎわいの創出を後押しできればと考えています。ぜひ、魅力的に変わっていく豊田市のまちなかにご期待ください。



豊田市駅【西口】 まち歩きを楽しさを広げる空間整備と交通利便性の向上

豊田市駅西口では、ペDESTリアンデッキの耐震補強とバリアフリー化(一部架け替え)により安全性の向上を図ります。またタイルの貼り替え等美装化もおこない、魅力的な駅前空間を創出します。駅東西の行き来や、周辺施設への回遊もしやすくなって、歩くことが楽しくなる空間を創出します。

西口と東口に分かれていたバス乗降場を西口のペDESTリアンデッキの下に集約することで、電車やバスの乗換など、利便性の向上を目指します。さらに、ペDESTリアンデッキ上には、電車やバスの待ち時間やお買い物の合間にくつろげる憩いの場として広場を整備します。



image



image

西口ペDESTリアンデッキの完成イメージ
(令和8年度アジア大会開催に向けて完成予定)

※機能やデザイン等は、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。

豊田市駅【東口】 にぎわいの風景が日常的に!居心地のよい駅前広場を整備

豊田市駅東口の整備については、まず狭く複雑なロータリーをリニューアルします。車両動線をシンプルにして、車での送迎にも充分対応できるよう、一般車送迎用、身障者用、タクシーの停車帯を設け、交通ロータリー機能の充実を図ります。

また、豊田市駅から直結する広場空間を東口に整備します。日常的な憩いの場として、誰もが思い思いにくつろぐことができる居心地のよい芝生広場と、大規模イベントにも対応できるにぎわいのスペースを設けます。



image

豊田市駅前の東口広場の完成イメージ
(令和11年度末の完成を目指す)

※機能やデザイン等は、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。

子どもたちの笑顔が輝くまちを目指して、社会全体で子育てを支えます。

豊田市役所 都市整備部 定住促進課 加藤 琴美さん

手厚く、充実した豊田市の子育て支援制度



子どもにやさしいまちづくりを推進する豊田市では、妊娠、出産期から、子ども・若者の自立まで、切れ目のない支援を提供し、2014年から11年連続で待機児童数ゼロを誇っています。小さなお子さまを持つ方が働きやすく、安心して子育てできる環境になっています。

近年始めた注目の子育て支援策には、公立のこども園での「お昼寝ベッド」導入があります。これまで保護者がおこなっていたお昼寝用布団の準備（園への持ち運び）や布団干しなどの負担を軽減できるようになりました。

毎月定額で紙おむつが使い放題になる「紙おむつのサブスク」などの支援サービスも充実しています。

2024年4月から、幼児から中学生までの「給食費を無償化」、高校生世代の18歳までは医療費も無料になりました。子育て世帯の経済的負担の軽減にも力を入れています。

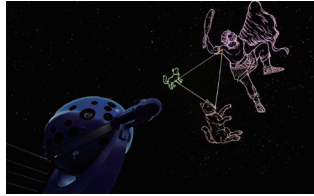
【豊田市博物館】

豊田市の自然、歴史、文化、産業を、実物やジオラマなどで紹介。五平餅やアユを模した木製玩具で遊びながら郷土の食文化について学べるキッズスペースもあります。



【とよた科学体験館】

科学やものづくりを楽しみながら学べる施設です。プラネタリウムもあり、身近な科学原理を学べるサイエンスショーや体験型ワークショップも開催しています。



知的好奇心を育む「学び・体験施設」充実！

子どもたちの好奇心を伸ばし、想像力を高める施設も、豊田市には数多くあります。しかも、こうした学び・体験施設のこども料金が無料なのも大きな魅力です。

自然遊びも身近な、恵まれた子育て環境！

生活の利便性がよい都心と、自然豊かな山村が共存している豊田市には、子どもたちがのびのびと遊び、健やかに成長できる公園や自然環境が身近にあります。

広大な敷地でキャンプやアスレチックも楽しめる鞍ヶ池公園や中心市街地より東へ4kmほどに位置する豊田市自然観察の森を代表とした魅力的な公園、施設が身近にあり、ちょっと車を走らせると、のどかな山村の風景が望める、自然へのアクセスもよいんですね。生活の利便性がよい都心部と、自然豊かな山間部が共存しているというのは、子育てをする上でも豊田市の強みかなと思っています。

【鞍ヶ池公園】

広大な敷地を有する豊田市のファミリーパークです。大屋根のある芝生広場やプレイハウスをはじめ、アスレチックや乗馬の体験施設、キャンプフィールドなどが整備され、大人も子どもも1日中楽しめます。



【豊田市自然観察の森】

豊田市の中心市街地から東へ4kmほどに位置する「豊田市自然観察の森」は、四季折々の自然を身近に感じることができる施設です。森の中を自由に散歩したり、森の生き物の観察会や工作体験等様々なイベントに参加したりするなど楽しみ方は様々です。受付では双眼鏡や虫眼鏡、図鑑の貸し出しも行っているため、気軽に利用することができます。



※記載の支援制度・サービスは2024年度現在のものです。支援制度・サービス・施設の詳細は豊田市のホームページをご覧ください。

人々が集い、にぎわう！まちなかの魅力を高めたい。

一般社団法人TCCM(豊田シティセンターマネジメント) 中井 久美さん

まちの活性化に公共空間を有効活用

豊田市では、2008年(平成20年)から「豊田市中心市街地活性化基本計画」を策定して、中心市街地の活性化に向けた取り組みをすすめています。この基本計画に基づいて、私ども一般社団法人TCCM(豊田シティセンターマネジメント)は公益性を持ったまちづくり組織として、官民で連携・協力しながら、まちなかの価値・魅力を高めていくエリアマネジメント推進事業に取り組んでいます。



丁寧にモノをつくる人と、丁寧に暮らす人が出会う場所

名鉄豊田市駅からほど近い桜城址公園で、毎月第3土曜日に開催しているのが「STREET & PARK MARKET」です。ハンドメイドの雑貨やアクセサリ、オーガニックやこだわりの食材を使ったお菓子や食事など、手仕事で丁寧につくられたモノを販売するお店が50店舗ほど出店、リピーターのお客も多く、とても好評です。若い子育て世代が、まちなかに足を運ぶようになる仕組みを考えていたとき、まず、小さなお子さんを持つお母さんたちにリサーチをしました。すると、みなさん独身時代はおしゃれなカフェや雑貨店へ行っていたのですが、子どもがいると行きたくても行けないという声が多かったんです。それなら気軽に立ち寄れる、屋外マーケットで素敵なショップを集めれば…と考えました。会場の桜城址

都市公園の活用

STREET & PARK MARKET
(会場:桜城址公園)
毎月第3土曜日開催



公園は、子どもたちが遊べる遊具もあるので、買い物しながら外遊びさせることもできます。実際に始めてみると、子育て世代はもちろん、その上の世代の方々も興味を持って来ていただけようになり、親子3世代で楽しめるマーケットになっています。

マーケットのにぎわいを駅前でも！

公共空間を活用したマーケットとしては、毎月第1土曜日には駅前の歩道空間を活用し「Toyota Street Market」を開催しています。人や社会、地球環境に配慮したエシカルという価値観をテーマに、こだわりを持ったお店が30店舗ほど並び、周辺の再開発ビルとも連携しながら、にぎわいを見せています。こうしたマーケットが、都心のにぎわいや回遊性を高めるきっかけになればいいなと思っています。

歩道空間の活用

Toyota Street Market
(会場:県道豊田市停車場線歩道)
毎月第1土曜日開催



にぎわいを生み出す担い手づくりにも注力したい

豊田市駅周辺は再整備がすすみ、大きく変わろうとしています。交通の利便性がよくなり、多様な過ごし方ができる広場空間もできて、ハード面はかなり充実していきます。今後は、整備された新しい環境をどのように活用するかを考えていくのも重要になってくると思います。私どもは、新しく生まれ変わるまちの公共空間を使って、何かやってみたいという人を見出し、その活動を後押しすることもできればと思っています。居心地の良いまちなかには、人が集まり、出会いや交流が生まれるものです。そんな可能性のある豊田市のまちなかを、まちづくりの担い手と共に一つ一つつくっていくことができたらと思っています。

※取材日:2024年5月